



## 光コネクタ付製品 取り扱い上のご注意

### コネクタ端面清掃

- コネクタを接続する直前に必ずコネクタのプラグ本体を持って端面を清掃してください。
- 端面にごみの付着や汚れがあると光学特性を劣化させることがあります。

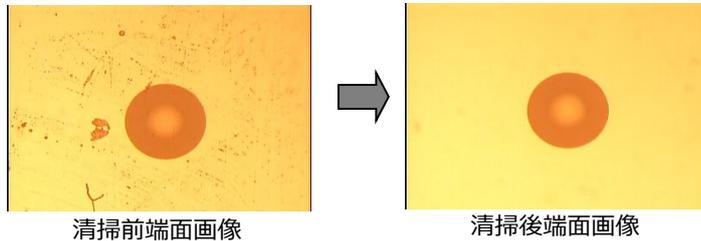


【 端面清掃用クリーナー：CLETOP<sup>®</sup>リールタイプ 】



Aタイプ (単心用) Bタイプ (単心/多心用) Cタイプ (MPO用)

※CLETOPはNTTアドバンステクノロジー株式会社の商標又は商標登録です。



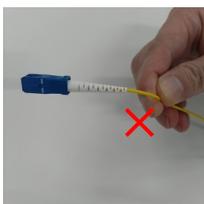
- 端面を清掃する際は、コネクタ先端のフェルルールを軽く押し当てる程度とし、バネが効かなくなる程、コネクタ先端のフェルルールを強く押し込まないようにご注意ください。
- LCコネクタの場合、強く押し込み過ぎるとフェルルールが戻らなくなる可能性があります。



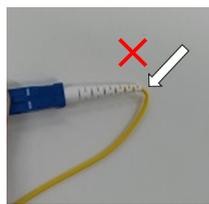
LCフェルルール

### 光コネクタ付コード/ケーブルの取り扱い

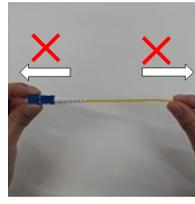
- 製品によっては高出力の光が伝送されている場合がありますので、ご使用の際はコネクタ端面を覗き込まないでください。
  - コネクタはプラグ本体を持って取り扱ってください。コネクタ根元のコード部分は持たないでください。
  - ケーブルおよびコードに急激な曲げ、キンク（局所曲げ）、引っ張り、捻り等を加えないでください。
- 機械的ストレスにより光ファイバが断線したり、光学特性が劣化したりする場合があります。



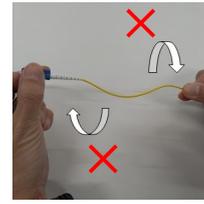
根元は持たない



急激な曲げを加えない



強く引っ張らない

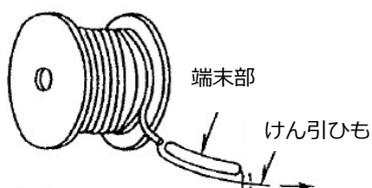


多くねじらない

- ケーブルの構成材料に金属体（鋼線、金属テープ等）が含まれる場合、帯電する事があります。
- ケーブル内の金属体（鋼線、金属テープ等）で指等を切らぬ様お取り扱いください。
- ケーブル端末処理時、光ファイバ心線が目、手、指等に刺さらぬ様お取り扱いください。
- ケーブルのテンションメンバ（支持線）を切断する時、丸めて切断すると跳ね返り、危険ですので伸ばしたまま切断してください。
- ドラム等梱包のステップル、釘、棘にご注意ください。
- ドラムの転がりにご注意ください。
- ドラムは横積みしないようにしてください。

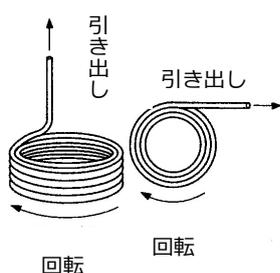
### 光コネクタ付ケーブルの布設方法

#### 1) ドラム巻き品



- ① 端末部をドラムより取り出し、ケーブル部に巻いてあるけん引ひもを引っ張り布設してください。  
(端末部を持って布設することは絶対にしないでください。)
- ② このときドラムを回しながら、ケーブルに大きな力が加わらないようご注意ください。

#### 2) 束取り品



- ① 束取りのひもを取り外し、端末部を取り出してください。  
紐をハサミ、ニッパー等で切断する場合は、ケーブルを傷つけないように束の外側部分を切ってください。
- ② 端末のケーブル外被部分を持って、束の巻き方向に引っ張り布設してください。束の巻き方向と直角に引き出すと捻れが生じますので、その際は束を回転しながら引き出してください。